

インテリア内装材卸製造などの丸和(本社福井市問屋町1丁目、渡邊信幸社長)と特殊高圧洗浄コーティング機製造販売などのエヌエム(本社同市和田2丁目、松井正己社長)は、越前和紙に、自然由来の無機質素材を利用したコーティングを施した壁紙を開発した。調湿性に優れ、自然にも優しい商品として年内販売を目指している。

丸和は2003年、越前和紙にはっ水性を持たせた壁紙「玉紙」を商品化。一般住宅や宿泊施設、温泉施設などで採用されている。和の雰囲気を出し出すだけでなく、湿度が高いときには湿気を吸収し、乾燥時には湿気を放出するなど、調湿性にも優れている。一方、エヌエムは自然界の鉱物を加工した特殊セラミックに水を通し吹き付けることで、ガラスの被膜ができる技



自然由来のコーティングを施した越前和紙の壁紙＝福井市問屋1丁目の丸和

(堀英彦)

越前和紙の壁紙 調湿性向上

丸和、エヌエム(福井) 年内にも商品化

コーティング 自然由来

術を持っており、車のコーティングなどに採用されてきた。

「SDGs(持続可能な開発目標)」をテーマに新たな商品を作り出そうと両社が連携。越前和紙にエヌエムのコーティング剤を塗布したところ、従来の和紙壁紙よりも調湿性が向上。室温40度、湿度90%の条件で、24時間後の吸湿率は「玉紙」の2倍となり、放湿性機能も高まった。カビが繁殖しづらいという除菌効果も確認できたという。

今後は壁紙として張る際の施工性をさらに高めていく。渡邊社長は(40)は「植物繊維と無機質成分でできた地球環境に優しい商品として、年内販売を目指す」と話している。